令和７年度（2025 年度）教科研修（高校　理科）
～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～　実施要項

１　目　的

観察、実験を伴う実習による実体験や実社会での問題発見・解決につながる教科等横断的な学びを意識した講座・演習等を通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方や評価について理解を深め、実践的指導力の向上を図ることを目的とします。

２　主　催

北海道立教育研究所

３　期　日

(1) 令和７年（2025 年）９月４日（木）～９月５日（金）　集合型研修
(2) 令和７年（2025 年）９月～令和８年（2026 年）１月　職場実践
(3) 令和８年（2026 年）１月 26 日（月）　遠隔型研修

４　実施方法及び会場

(1) 実施方法

本講座は、全２回の研修のうち、１回目の研修は集合型研修、２回目の研修は遠隔型研修により実施します。

(2) 会　場

ア　遠隔型研修

各受講者の勤務校（勤務校にいながら受講することが可能です。）

イ　集合型研修

酪農学園大学（江別市文京台緑町 582 番地）

５　参加対象

高等学校等理科担当教諭（採用から５年以内）

６　研修内容及び日程（職場実践（自己研修）を除く）

９／４（木）９:20～16:40 集合型研修					
［８:50～９:20］受付・移動	［９:20～９:30］開講・オリエンテーション	［９:30～10:30］講義「STEAM 教育の視点を取り入れた理科教育の充実」酪農学園大学教授 金　本　吉　泰　氏	［10:40～12:00］実習「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験	［12:00～13:00］昼食・休憩	［13:00～16:40］実習「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験

９／５（金）９:00～16:00 集合型研修			
［９:00～12:00］実習「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験	［12:00～13:00］昼食・休憩	［13:00～15:10］実習「物理」「化学」「生物」「地学」の観察、実験	［15:10～16:00］研修の振り返り

1／26（月）13:30～16:10　遠隔型研修				
［13:00 ～ 13:15］ 接続 受付	［13:15 ～ 13:30］ 接続最 終確認	［13:30～15:00］ 実践交流及び情報交換 授業改善・評価の充実について の自校での実践成果発表・交流	［15:10～15:40］ 協議 理科に関する先進 的な取組事例など	［15:40～16:10］ 研修の振り返り 今後の取組の明確化

7　講師

(1) 集合型研修　１日目

【講義】「STEAM 教育の視点を取り入れた理科教育の充実」

酪農学園大学教授　金　本　吉　泰　氏

(2) 集合型研修　２日目（９：00～10：20）

【実習】「地学基礎の観察、実験」

公立千歳科学技術大学客員教授　宮　嶋　衛　次　氏

8　受講に係る留意事項

(1) 集合型研修

ア　携帯電話及びスマートフォンは、マナーモードに設定願います。

イ　受講中は、随時、水分を補給していただいて結構です。

ウ　個人のパソコンやUSB メモリ等の電子媒体は、ウイルス対策により会場の情報機器に接続しないようお願いします。

エ　教育資料室及び関連資料を希望する場合は、運営者に申し出てください。

オ　講座期間中、研究相談、教育相談等を受け付けています。校内研修や授業改善の進め方、生徒指導に関して、相談や入手したい資料などがありましたら運営者にお気軽に声をかけてください。

(2) 遠隔型研修

ア　本研修講座で使用する配信画面､配信動画等を無断で録画(スクリーンショットでの撮影を含む)、録音、ダウンロードしないでください。

イ　接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については､別途お知らせします。

(3) その他

ア　それぞれのコマを開始時刻から直ぐにスタートできるよう、接続や研修会場又は研修講座を受講する場所への移動に御協力願います。

イ　受講者としてふさわしい服装で受講してください。

ウ　研修講座アンケートは、講座修了後に回答いただきますので、御協力願います。

エ　研修講座の紹介のため、本研修講座の様子を写真や動画として撮影させたいただく場合がありますので、御了承願います。

9　その他

(1) 研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただく場合もあります。
そのため写真に顔等が映り込むことがございますので、あらかじめ御了承ください。

(2) 遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末（カメラ機能・音声入出力機能有り）が必要となります。